

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



## 地域のリーダー (仙北地域 天寿会の皆さん)

毎週日曜日の午後、手作りのコースに集合。  
平均年齢？歳。いつまでもお元気で  
がんばってください。

## 大仙市議会 「市政懇談会」特集号

皆さまからいただいたご意見・ご要望に  
お答えします。

### 主な内容

### CONTENTS

■ 第3回定例会、第3回臨時会、議決結果ほか	2～3
■ 8人の議員が一般質問	4～7
■ 委員会審査のあらまし	8～9
■ 先進地に学ぶ	10～11
■ 政治倫理審査会報告ほか	12
■ 議会のうごき、12月定例会のお知らせほか	13
■ 市政懇談会報告	14～19
■ 市民の声、編集後記ほか	20

# 第3回定例会 8月27日(木)～9月17日(木)22日間

第3回定例会は8月27日から9月17日までの22日間の会期で行われました。本会議1日目は市長による市政報告のあと、条例案6件、単行案2件、補正予算案2件、平成26年度一般会計歳入歳出決算及び特別会計決算の認定など21件が上程されました。本会議2日目は5議員、本会議3日目には3議員の一般質問が行われ、市政全般にわたって市当局の見解を質しました。また、本会議3日目に条例案、単行案、補正予算案、決算の認定、陳情が各委員会に付託されました。本会議4日目は各常任委員長からの報告を求め、条例案・単行案・補正予算案10件を原案可決、平成26年度決算2件を認定、残る19件を閉会中の継続審査(11月の決算特別委員会で審査)とし、閉会しました。主な内容は次のとおりです。

## ▼教育福祉常任委員会副委員長・広報広聴常任委員会副委員長の選任

前副委員長、細谷洋造議員の逝去に伴う選任で、欠員となった教育福祉常任委員会副委員長には石塚柏委員が、広報広聴常任委員会副委員長には秩父博樹委員が選任されました。

一般の個人情報と別に特定個人情報として取り扱われるため、特定個人情報等の利用等に関する規定を整備するものです。

## 条例案

▼大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について(賛成多数で可決)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)が施行される社会保障・税番号制度が導入されることに伴い、個人に指定される番号(マイナンバー)を含む個人情報

## 単行案

▼大仙市と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する協議について(全会一致で可決)

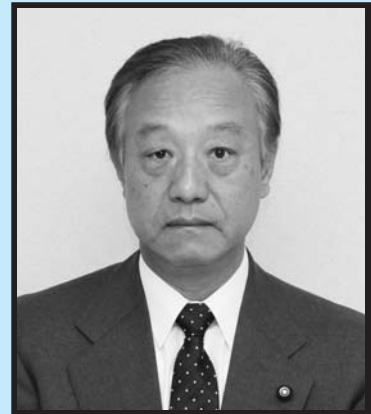
行政不服審査法の改正により、市が秋田県に行政不服審査会の事務を委託するものです。

## 補正予算

▼平成27年度大仙市一般会計補正予算(第4号)(賛成多数で可決)

歳入歳出予算総額に15億6765

## 細谷 洋造 議員逝去



細谷洋造議員(大仙市神宮寺字家後・65歳)は去る8月23日に逝去されました。故人は旧国鉄、現JR東日本株式会社に奉職後、平成25年9月、大仙市議会議員に初当選。以来1年11ヶ月の間ではありましたが、教育福祉常任委員会副委員長、議会報編集委員会副委員長、広報広聴常任委員会副委員長の要職を務められ、市の福祉向上、子育て環境の整備等への助言のほか、市民に読まれる市議会だよりの編集に尽力されました。ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

万6千円を追加し、補正後の総額を472億3350万6千円とするものです。

主なものは、マイナンバー制度の開始にあたり、個人番号カード交付関連業務の委任に係る負担金302万8千円、高齢者世帯等の間口除雪や住宅周りの除雪、屋根の雪下ろしの経費1億686万4千円、除雪対策費1億371万1千円、大曲駅東の幸町における幹線道路整備の経費4211万2千円、7月24日から25日の豪雨により被災した道路、農地・農業用施設、林道などの復旧に係る経費1億3587万1千円などです。

## 決算

▼平成26年度市立大曲病院事業会計の決算の認定について(全会一致で認定)

▼平成26年度大仙市上水道事業会計の決算の認定について(全会一致で認定)

▼平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)(全会一致で可決)

協和南部地区簡易水道の更新及び県営ほ場整備事業の実施に伴う淀川地区簡易水道配水管移設に係る経費で、566万円の補正です。

第3回臨時会

7月27日(月) 1日間

平成27年第3回臨時会が7月27日に1日の会期で招集され、人事案件、単行案1件、補正予算案2件の計4件が上程され、同意・可決されました。主な内容は次のとおりです。

▼荒川財産区管理会財産区管理委員の選任について(全会一致で同意)

荒川財産区管理会委員7人のうち、鈴木啓悦氏が辞任したことに伴い、後任として近江屋忠之氏を選任するものです。

▼平成27年度一般会計補正予算(第3号)(全会一致で可決)

西仙北地域刈和野に社会福祉法人が運営する認知症高齢者グループホームの増床整備への補助金375万9千円、榊花火創造企業が新たに建設する花火製造工場について、市が創業支援として用地を貸与する中沢工業団地の造成工事費900万円の補正などで、補正後の総額は456億6585万円となります。

▼平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)(全会一致で可決)

協和南部地区簡易水道施設の漏水に伴う配水管の復旧工事の補正2295万2千円。

平成27年第3回臨時会 議決結果(全会一致)

番号	件名
議案第86号	荒川財産区管理会財産区管理委員の選任について
	以上 同意 1件
議案第87号	平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について
議案第88号	平成27年度大仙市一般会計補正予算(第3号)
議案第89号	平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
	以上 原案可決 3件

平成27年第3回定例会 議決結果

番号	件名
議案第90号	大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第91号	大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第92号	大仙市運動広場設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第93号	大仙市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第94号	大仙市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
議案第95号	大仙市立仙北就業改善センター条例を廃止する条例の制定について
議案第96号	大仙市と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する協議について
議案第97号	平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について
議案第98号	平成27年度大仙市一般会計補正予算(第4号)
議案第99号	平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
	以上 原案可決 10件
議案第119号	平成26年度市立大曲病院事業会計決算の認定について
議案第120号	平成26年度大仙市上水道事業会計決算の認定について
	以上 認定 2件
陳情第32号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出についての陳情
陳情第33号	マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期と改正案の凍結を求める意見書の提出についての陳情
	以上 不採択 2件
陳情第34号	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情
	以上 趣旨採択 1件

第3回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

議案等名	議決結果	大地の会										新政会				だいせんの会				野党	共産党	公明									
		千葉健	武田隆	大山利吉	金谷道男	富岡喜芳	後藤健	佐藤育男	石塚柏	大野忠夫	高橋幸晴	本間輝男	鎌田正	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木隆	小山緑郎				高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	児玉裕一	橋村誠	佐藤隆盛	佐藤文字	藤田和久	秩父博樹
議案第90号 大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号 大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号 平成27年度大仙市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第32号 「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情第33号 マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期と改正案の凍結を求める意見書の提出についての陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。



会  
大地の  
議員  
石塚 柏

Q 国の財政危機に対応する  
大仙市の財政は

A 来年3月に財政計画を  
示したい

**質問** 国の財政は厳しく、国・地方で借金が千兆円を超えた。単に借金が多いだけでなく、国民金融資産の減少で国債の引受けが難しくなること、社会保険制度が、給付を受ける高齢者率の増加と労働人口率の減少で行き詰まることが予想される。国の財政に40%以上も依存している大仙市の財政をどう運営するのか。

**市長** 今後、国庫補助金は補助率の悪化や廃止が考えられるため、5カ年間で市債の発行は返済する額の8割に留めることや職員定員の縮減に取り組んでまいりたい。財政計画は予算編成の重要な指針となるので、総合計画の策定に併せ、来年3月の定例議会にお示ししたい。

公共施設の改築問題は

**質問** 西仙北地域での市政懇談会で、出席者と西仙北中央公民館の改築について活発なやり取りをした。そこで地元議員から「中央公民館の改築に10億円を超える予算を付ける」と言うが、多額で驚いている。今はそうした余裕のある時代ではないの

ではないか。太田公民館の改築の検討内容と中央公民館の考え方を比較してはどうか。」との勇気ある発言があった。老朽化した公共施設の更新はどうあるべきか。

**市長** 太田公民館は太田支所の空きスペースを活用し、更に隣接する文化プラザを改修して鈴木空如作品の展示スペースを確保した、公共施設の再編のモデルケースとして期待している。西仙北中央公民館は老朽化や経年劣化が著しく、西仙北支所には空きスペースがないため、公民館機能を全て移転することは無理と判断した。また「刈野の大綱引き」伝承活動など、多目的機能の公民館としたいと考えている。

※石塚議員はこの他、プレミアム商品券の販売手法について質問しました。



会  
新政  
議員  
茂木 隆

Q 米の基準単収値を実情に  
合わせた設定にすべし

A 中山間地域の实情に応じた  
設定方法を協議する

**質問** 米の生産調整に係る基準単収値が市統一とされているが、中山間地など単収が上がらない地域の農家にとって不利である。実情に即した単収値を設定することが、公平性と所得の向上につながると思うがいかがか。

**市長** 平成17年の合併後、19年産まで各地域別の基準値を設定していたが、この間、旧市町村単位を越え、市全域での転作互助制度を築きスームズな生産調整達成につなげるためには、基準値の統一が望ましいとする当時の市水田農業推進協議会の意見を踏まえ、3年の歳月をかけ議論を重ね、平成20年産から全市統一の基準単収の設定と運用が開始され、現在に至っている。しかし、中山間地と平地における生産条件の差異は、地域別の単収を比較すると最大で10aあたり32kgの開きがあり、また、米価の下落や、国が推進する飼料用米の交付単価の設定に基準単収が用いられている現状に鑑みると、条件不利地における営農状況が厳しいことは認識している。基準単収の設定のあり方については、市農

業再生協議会の場において、市として中山間地域の实情に応じた新たな基準単収値の設定方法を提案し、平成28年産からの水稲作付面積の配分方法を協議してまいりたい。

プレミアム商品券発行事業について

**質問** 市内の消費喚起と商業振興を目的に行われたが、多くの購入希望者の意に添えない結果となった。率直に反省し、この事業を検証し、事業協議会・当局・議会が二度と同じような不満を市民に持たれないように努力すべきでは。

**市長** 今回の商品券発行にあたっては、制度の根幹をなす部分に市も大きく関わっていることから、混乱を招いたことに責任を感じている。今後事業を実施する場合は、詳細についても市が事業協議会の中に入っ

て決定したうえで議会にも示し、実施してまいりたい。

※茂木議員はこの他、教育行政について質問しました。



日本共産党  
藤田 和久 議員

Q 全国花火競技大会の  
改善点について伺う

A 本市の一大イベントであり、  
改善は当然

**質問** 棧敷席の値段が高すぎる。高騰する理由は何か。

**市長** 消費税率の引き上げに加え、労務単価や原材料の高騰が主な要因と認識している。

**質問** 花火大会の決算報告書を公開すべきでないか。

**市長** 花火大会の会計は商工会議所の催事事業特別会計として処理され、会議所のホームページで公表されている。

**質問** 無料観覧席が少ないとの意見があるが。

**市長** 観覧会場の安全確保のためレイアウトを改良しているが、一定の広さは確保していると認識している。

**質問** 棧敷席の販売方法等検討が必要と思うが。

**市長** 棧敷席は旅行会社、商工会議所会員用、個人販売があり、オンラインチケットやインターネット、直接販売にて実施されている。

**質問** 駐車場紹介と民間駐車場設置に対し、市の指導はあるのか。

**市長** 駐車場紹介は民間駐車場マップで案内している。民間駐車場

の募集で575台分の駐車場を確保できた。

**質問** 労働基準監督署裏の河川敷内の樹木を伐採できないか。

**市長** 河川敷内の樹木は、土地も含め個人の所有のため難しい。

農業問題について

**質問** 県農地中間管理機構への農地貸出状況は。

**市長** 7月末現在で、215.9haの申請があった。

**質問** 米価改善のため、市長会で働きかけはできないか。

**市長** 難しい状況と思うが、市長会を通じて要望してまいりたい。

**質問** 小規模農家や家族営農の奨励を。

**市長** 家族営農も必要であり、市長会等から国・関係機関へ要望してまいりたい。



公明党  
秩父 博樹 議員

Q ピロリ菌検査及び除菌を  
推進する胃がん対策の考えは

A 国の動向を注視し、  
慎重に対応を検討する

**質問** 市民の皆さんの胃袋の中に、ピロリ菌がいるかどうかを検査し、いる場合にはこれを除菌し、胃がんの原因の根本を絶つ。これを自治体がリードしていくことが、先進の胃がん対策と考えるが。

**老松副市長** 県では総合的ながん対策を推進しており、市でも胃がん検診を含めた各種がん検診の受診率向上に努めている。ピロリ菌検査及び治療については、県や地元医師会との医療行政懇談会で意見等を伺い、国の動向を注視し、慎重に対応する。

コンビニ交付サービスの  
導入について

**質問** 市民の利便性向上のために、当市窓口業務のコンビニ交付サービスの導入すべきと考えるが。

**老松副市長** コンビニ交付サービスを取り巻く環境は、個人番号カードの機能を活用することで簡便にサービスに参加できること、また、事業費に係る経費的側面からも導入に対するハードルは以前より低くなっているが、サービス提供の基本となるカードの普及率が住民基本台帳カードで1.77%といった状況から、個人番号カード移行後の普及状況、戸籍を除く年間約8万4千件の各種証明書の交付に係る行政事務の効率化などを検証し、費用対効果が期待できるか検討する。

通年型観光基盤づくりの  
推進について

**質問** 大曲の花火に限らず、年間を通して観光客を呼び込む工夫した情報発信を行っていく広報活動や、点在する観光資源のネットワーク化により、年間を通じて観光交流人口の増大に向けた仕組みづくりが必要と考えるが。

**市長** 年間を通じた観光客誘致については、本市の各地域にある観光



大地の会 佐藤 育男 議員

Q 老朽化が著しい中仙公民館  
清水分館の改築について

A 地域に必要な施設として位置づけ、  
調査・検討して行く

**質問** 公共施設の次期計画を策定するにあたり、その方針と、老朽化が著しい中仙公民館清水分館の改築について、どのような位置づけになるのか。

**市長** 施設について必要な改修等を計画的に実施し長寿命化対策を行うとともに、次期計画においては、大仙市全体における施設の総量縮減を掲げ、現行施設の統廃合や複合化、空きスペースを利用する機能移転、規模縮小、民間や地域への譲渡、売却、貸付など、様々な角度から長期的な視点で検討していく。また、老朽化が著しい中仙公民館清水分館の改築については、現在行っている次期施設計画の策定に含まれており、地域に必要な施設として位置付けし、調査・検討していく。実行可能なものに対しては、27年度計画の中に盛り込まれることになる。

都市計画区域の設定について

**質問** 都市計画区域に指定されたことにより、地域住民の生活に制約を受ける事案があるとすれば、それ

はなにか。そして、その対策は。

**久米副市長** 中仙地域では、平成23年9月に都市計画区域が拡大された。都市計画区域に指定されると、開発行為の許可を必要とする面積や、建築物を建築する際の建ぺい率・容積率のほか、接続する道路の幅員等に制約を受ける。建築基準等において、救済措置が設けられており、大半の事案は救済できるが、道路幅員と敷地の関係には様々な事例があるので、関係部署で適切に対応していく。



▶老朽化の進む中仙公民館清水分館

※佐藤育男議員はこの他、小中学校の教育環境の整備、研究機関の誘致について質問しました。



大地の会 金谷 道男 議員

Q 市民へ公共施設見直しに関連する情報を出すべきでないか

A 公共施設等総合管理計画素案と現状把握調査結果を公表したい

**質問** 公共施設更新・新設を市民とともに考えるために、財政見通しや施設の現状、人口見通し等の関連情報を出し、ハコモノは削減目標を定めるべきでないか。

**市長** 市では全公共施設の現状を把握する実態調査を2カ年かけて行い、経過年数、建物規模、施設の利用状況や稼働率、運営コスト等を分析し、施設ごとに課題等をまとめた。調査結果の公表と併せ、「公共施設等総合管理計画」素案を地域協議会に提示するほか、市民へのパブリックコメント(意見公募)を実施する。また、削減面積目標設定は、見直しの基本方針に「総量縮減」を掲げることを検討している。人口や市の財政規模が縮小する状況を踏まえ、施設の統廃合や複合化等「総量縮減」の進め方や目標数値を全庁で検討している。今後20年、30年先を見据えた、次世代に大きな財政負担を負わせない、効率的で適正な公共施設配置を行う。

空き家の活用は

**質問** 市内の活用できる空き家が

多い割には、空き家バンクの登録が少ない。積極的に空き家バンクを活用し、移住政策を進めるべきと思うが。

**久米副市長** 空き家の状況に関して、県内外から数多くの問い合わせがあるが、空き家登録件数と成約件数は少ない。登録を増やすため、制度紹介パンフレットを空き家の所有者へ発送したり、首都圏ふるさと会で配布している。今後はFMはなびの活用、定住対策を担当する市、秋田県、NPO法人と情報交換し、空き家の積極的な登録と活用希望者の選択肢を拡大したい。

真木溪谷の災害復旧は

**質問** 7月の豪雨で真木溪谷道路が被災したが、復旧の見通しはどうか。

**市長** 市道真木線は路肩崩落、道路決壊、倒木と土砂堆積など大きく被災した。今補正予算に災害復旧費を計上した。国の災害査定を受け、早期復旧を図ってまいりたい。また、国有林道は秋田森林管理署へ、早期に通行できるよう要請している。



市民クラブ  
佐藤 隆盛 議員

Q 安全保障関連法案に  
関する市長の見解は

A 憲法改正の手續きに  
向かうのが道理

**質問** 国家の運命に関わることであり、市政とは一線を画する事項とはいえ大切なことと考えるが、市長の見解は。

**市長** 外交・国防・治安については国の専権事項であり、基礎自治体での議論になじまないものと考えている。しかしながら、現在審議中の安全保障関連法案には、憲法そのものに触れるという点において看過できない問題があることから、長年政治の世界に身を置いてきた者の一人としてあえて考えを述べたい。このたびの法案については、歴代の内閣法制局長官や憲法学者の多くが、そして元最高裁長官までもが「違憲」であるとの見解を示している。内容の是非もさることながら、閣議決定による憲法解釈の変更のみをもって法案が提出され、審議され続けているということが、立憲主義、法治国家のありようとして、異様に思えない。憲法9条の解釈は、集団的自衛権は有するが行使しないというものであり、これが60年余りにわたって国民の支持を得てきた考え方で、すでに憲法第9条の骨髄と化し、

一体となつて慣習法として定まっていると言つても過言ではない。この解釈を変更するということは、事実上の憲法改正であると言わざるを得ない。集団的自衛権の行使を認めると言うのであれば、法案以前に、まずは憲法改正に向かうのが筋である。憲法自体に定められた憲法改正の手續きに向かうのが道理でないかというのが、私の政治経験に基づく考えである。

自治基本条例の制定について

**質問** 自治基本条例の素案については、どのような方々で作成し、現在どの程度まで進み、議会に示す時期はいつか。

**市長** 各地域協議会や各種団体の代表者18名と公募により応募いただいた3名の計21名の市民で、月1回のペースで15回にわたり会議を開催し検討を重ね、17日の今議会最終日に議員に説明し、年内を目途に素案をまとめる予定である。



日本共産党  
佐藤 文子 議員

Q マイナンバー制度、  
セキュリティ対策は万全か

A 年金機構の流出事件の  
ようなことは起こらない

**質問** 当市の個人情報セキュリティ対策は、年金機構の流出事件のようなことが起こらない万全なものとなっているのか。

**久米副市長** 本市のセキュリティ対策は、個人情報を多く扱う基幹システムと市役所内の情報を主に扱う情報システムとの2系統あるが、お互いに通信できないネットワークの仕組みで遮断しており、インターネット接続はセキュリティ対策を施したうえで情報系のみが接続されている。職員の業務に係る個人情報を含む情報資産の運用については、大仙市情報セキュリティポリシーや実施手順書を作成し、各業務の遂行にあたっている。また、セキュリティポリシーの意識向上のため、全職員対象にセキュリティ研修を行い、定期的に職員の自己セキュリティ点検を行っている。今後も同様のセキュリティ対策を継続していくので、年金機構の流出事件のようなことは起こらないと考える。

その交付対象人数は。また、どのような場面で利活用が図られるのか。さらに市民の利便性を高めるためにカード利用に係る今後の取り組みについて考えがあるのか。

**久米副市長** 国の交付金算出方法によると平成27年度の作成枚数を1千万枚と想定しており、比率算出で約6800枚となる。カードの利活用では、①個人番号を証明する書類としての利用で、就職や転職、年金受給や災害時の個人番号の提示が必要な場面、②本人確認の際の公的な身分証明書、③平成29年1月から開始する行政機関が、マイナンバーの付いた自分の情報をいつ、どこでやりとりしたかを確認できるマイナンバーポータル（情報提供等記録開示システム）への接続を考えている。

市の取り組みについては、マイナンバー制度が国の想定する利用に留めるものとし、その後状況を見ながら検討してまいりたい。

**質問** マイナンバー制度導入に伴い、新しく交付する個人番号カードに関わる補正予算が計上されたが、

※佐藤文子議員はこの他、プレミアム商品券事業について質問しました。

上程された議案は関係各委員会に付託され、審査が行われました。各委員会での主な質疑は次のとおりです。

総務民生常任委員会

条例案4件、補正予算案1件、陳情3件を審査しました。

マイナンバー制度の効率化は

【問】市民は身分証明を健康保険証や免許証で行い、不便は感じてこなかった。マイナンバーカードで行政は、どんな効率化が図られるのか。

【答】マイナンバーカードにより、本庁・支所のどの部署でも本人確認ができ、スムーズな受付事務が行われる。また、印刷物を削減でき、経費節減も図られる。

【問】マイナンバー制度の普及には広報やホームページ掲載だけでなく、市民に説明する場も必要と思うが、検討しているのか。

【答】マイナンバー制度の説明会は、税務署と秋田県

では依頼があれば行っている。市も要請があれば出向きたい。

討論

行政は国民の所得、社会保障給付の状況を効率良く把握できるが、国民は個人情報が入ったマイナンバーの漏出によるプライバシー侵害の危険性が高まる。国民の支持や理解が広がらない制度を前提とした本条例案に反対する発言があった。

高齢者等雪対策は

【問】新設される高齢者等雪対策総合支援事業と空き家・高齢者世帯等除排雪事業との関係はどうなるのか。

【答】高齢者世帯等除排雪事業は、昨年まで実施してきた間口サービス事業の対象者を主とし、見守りや声かけが主な業務で、緊急性がある場合は除排雪も行う。高齢者等の支援は、高齢者等総合支援事業を主として行うが、補完サービスとしてネットとして空き家・高齢者世帯等除排雪事業を考えている。



▲大仙雪まる隊による除雪ボランティア活動(太田地域)

企画産業常任委員会

補正予算案1件を審査しました。

(仮称)花火伝統文化継承資料館等整備事業について

【問】代替施設を利用することができないか。

【答】かなり広い範囲で検討したが、年間1万4000人ほどの利用者を収容できる施設がなかった。

【問】産業展示館と景観の調和がとれる木造工法等で、建設費を圧縮できないか。

【答】工法等も含め、国・県の補助金を活用し、財源の確保に努め、建設費の圧縮を検討していく。

【問】建設地に隣接する民家を買収し、用地として利用できないか。

9人の作業員、諸経費を積算し、合計4万2000円の半額を交付額とした。

【答】工期的に間に合わなくなるので、状況に特段の変化がない限り、現在の計画で進めていく。

【問】自治会支援の一環として、県道沿いの除草作業等を請け負い、自治会の活動費に補足できないか。

【答】多面的機能支払交付金事業との関連や、除草作業委託状況などを確認し、今後検討していく。



▲(仮称)花火伝統文化継承資料館建設予定地に隣接する大曲産業展示館

地域提案型自治会等雪対策モデル事業について

【問】この事業の交付額の算出根拠は。

【答】間口通路除雪は1時間当たりの作業労賃、1件当たりの作業時間、年間出动回数を積算し、合計1万6000円の半額を交付額とした。雪下ろしは1日当たりの労務単価、平均屋根面積の96㎡、1件当たり2

多面的機能支払交付金事業は、地域づくりを盛り上げていきます。





**教育福祉常任委員会**

条例案2件、補正予算案1件、決算認定1件を審査しました。

**運動広場設置条例の一部改正について**

【問】県から無償貸与を受けた大曲西道路高架下の広場は、冬期間の使用は可能か。  
 【答】ネット等の設置を県へ要望したが、高架下に構造物は付けられない。3分の2程度は、雪の影響を受けない使用可能と見ている。

**保健センター設置条例の一部改正について**

【問】保健センター移転後の建物は解体するのか。  
 【答】建設から36年経過しており、現在の耐震基準も満たしていない。検討中だが、広域消防本部の移転と併せ、解体予定である。

**高齢者雪対策について**

【問】子、親族が近くにいる場合の助成の要否判定はどうか。  
 【答】民生児童委員や社会福祉協議会などの関係機関

団体等から情報を得て、実態に応じて個別に判断する。

**体育施設の改修事業について**

【問】大曲武道館の解体・建築総費用はどのくらいか。  
 【答】解体1400万円、建築2億8000万円、総事業費約3億円を見込んでいる。

【問】大曲武道館の代替施設は。  
 【答】約一年半の工事期間中は、大曲体育館や公民館の体育館等の利用を想定している。



▲建て替える大曲武道館

**平成26年度市立大曲病院事業会計の決算認定について**

【問】企業債の利率が4.65%だが、低い利率に借り換えできないか。

【答】大蔵省資金運用部資金は線上償還を認めていない。過去に利率5%以上を対象とした制度があったが、病院事業債は対象外であった。

**意見・要望等**

病院敷地の借地料を、20年間で約7000万円支出している。契約更新時に買い上げの検討も必要ではないか。また、物品購入については市外業者も多く、市内業者で対応できるものは、産業振興・業者育成の観点から、優先的に配慮してほしい。

**建設水道常任委員会**

条例案1件、単行案1件、補正予算案2件、決算認定1件を審査しました。

**駐車場条例の一部改正について**

【問】大曲駅前駐車場を増やしてきている。大曲ヒカリオ駐車場の稼働率が懸念されるが、見直しは。

【答】大曲厚生医療センターが建設した第2立体駐車場は、病院利用者・病院職員

等が利用する施設と伺っている。大曲ヒカリオ駐車場は、駐車料金を最初の2時間まで無料とし、買い物等で訪れる方、飲食店を利用される方にも、便利で利用しやすい料金に設定している。南街区を利用される方にも大変利用しやすい駐車場なので、たくさんの方に利用していただきたいと考えている。



▲駐車台数219台の大曲ヒカリオ駐車場

**道路の維持管理について**

【問】全市でかなり市道の舗装が傷んでいる。今の修繕の進捗状況では、いつ全ての舗装が終わるかわからない。当初予算をもっと増額して、大規模に整備できないか。

【答】昨年度から国の社会資本整備総合交付金事業を活用して路面修繕を行って

いるが、今年度の交付率が非常に低く、計画どおりに事業が進んでいない。全て市の予算で行うとすれば多くの予算が伴い、困難な状況である。限られた予算のなかで対応するとともに、交付金も活用しながら修繕を進めてまいりたい。

**平成26年度上水道事業会計の決算認定について**

**決算審査意見**

① 企業収益は適正な利潤が保たれているが、宇津台浄水場の更新事業に着手し、老朽化した玉川浄水場の更新も控えている。今後、収益が減少していく可能性が十分に考えられるので、将来を見通した給水計画の見直しに着手されたい。  
 ② 予算に対して、約1割ほどの不用額が出ている。適正な当初予算を編成することは当然だが、年度途中での予算の組み替えなどを検討されたい。また、毎年2億円ほどの利益剰余金を計上しているので、基金への積立や企業債の償還に充てることを検討されたい。

総務民生常任委員会

◆災害に強いまちづくりを学ぶ

7月8日～10日までの3日間、石川県輪島市、金沢市、珠洲市を視察しました。

輪島市は平成19年3月、

震度6強の能登半島地震に襲われました。住居やインフラは大きな被害を受けましたが、人的被害が少なく、これは毎年行う住民参加型の防災訓練と、日頃から町内会や公民館活動が活発で、地域の絆が強かったことが奏功したと考えられました。この教訓から市では災害に強いまちづくりは地域防災力の強化にあるとし、防災士の育成、自主防災組織の結成促進と活動支援を行なっていました。特に防災士養成は学校と連携し中高生にも受講を勧め、現在中学生8名、高校生4名おり、地区で活動していました。また、災害を風化させないために、公共施設や観光施設で災害記録展示をし、広く啓発していました。地域防災力の強化は、市民の日頃の絆と防災意識の常時啓

発であることを改めて感じました。

このほか、金沢市では環境エネルギー活用について、珠洲市では空き家を利用した移住定住政策について視察しました。

(委員長 金谷道男 記)



▲輪島市で地域防災を学ぶ

企画産業常任委員会

◆公共施設マネジメント基本方針、葉っぱビジネスについて研修

7月28日から30日の3日間、香川県さぬき市の公共施設マネジメント基本方針及び徳島県上勝町の葉っぱビジネスについて視察してまいりました。

さぬき市は平成14年に5町が合併した市で、「合併前の公共施設をそのまま活

用してきたため機能が重複している」「支所等では建物に余剰空間が多い」などの課題を抱えているため、公共施設の見直しを行っていったとのことでした。



▲なんてんの葉っぱの梱包状況

上勝町の葉っぱビジネスは、もみじや柿、なんてんなどの葉っぱを刺身の「つま」として商品化したものです。JAでは商品の注文、価格交渉、出荷などを行い、生産者がタブレット型端末を利用して出荷品目や数量の調整を行い、そのシステム構築を株式会社いんどりが行い、必要な物を必要な時に必要なだけ売る仕組みづくりをして、生産者に情報提供しているという内容でした。上勝町は人口約1700人、高齢化

率50%以上、山林の占める割合が約89%であり、葉っぱビジネスによる販売額が2億6千万円で、年間1千万円以上稼ぐおばあちゃんもいるとのことでした。

(委員長 高橋幸晴 記)

教育福祉常任委員会

◆少子化対策と子育て支援を学ぶ

7月7日に岐阜県美濃加茂市を訪問しました。唯一外国人も含め人口が微増してきた市であり、市独自事業について学んできました。各年代層別のプラン事業、地域財産を活用し、学校と地域住民の協力で18歳まで育てる趣旨のもとに策定されておりました。また、美濃加茂市は工業都市への転身にも力を入れており、大手企業が増えると同時に定住促進にも努めており、改めて雇用の大切さも感じてきたところです。

7月8日には歴史と文化財の継承について高山市を訪問しました。飛騨の匠の技術、文化財の保護、住民も景観計画に携わり、古い

町並みの保護、「高山祭」の継承に努めており、また、自営消防隊を組織し、自主的な防災訓練活動にも官民一体で取り組んでおりました。今後の課題として、現在の私たちが未来の子どもたちにどう伝えていくのか、その大切さを学んできたところです。

(委員長 小山緑郎 記)



▲高山市の先進的取組を研修

建設水道常任委員会

◆水道水源の保全、河川の環境整備について学ぶ

7月22日から24日までの3日間、愛媛県松山市と高知県四万十市に行政視察に行つてまいりました。

松山市では水道水に使用する水源の保全に取り組んでおり、水源の半分を依存

する石手川の流域に水源保護区域を指定し、市の職員や市民からなる「水源水質保全推進員」が定期的に河川のパトロールをしておりました。また、平成6年の大濁水を機に濁水に強い節水型の都市づくりを進め、水源確保のために設置した基金を活用し、放置された竹林を広葉樹林に整備する事業を行っておりました。



▲松山市で水源保護を研修

四万十市では河川愛護の活動状況などについて視察しました。毎年4月10日を「四万十の日」と定め、民間団体も参加して一斉清掃を行う保全活動がされておりました。また、子どもたちが水辺の学校や伝統漁法の体験などを通して、水に親しみ、環境に対する意識

を高めてもらう事業や、水質を浄化する微生物用に各家庭で培養液を作り、川に流す活動を行っているのが印象に残りました。

両市の官民が一体となった取り組みを参考に、市の施策にも反映させてまいりたいと思っております。

(委員長 千葉 健 記)

**広報広聴常任委員会**

**◆議会報の編集・議会報告会について研修**

8月17日、全国中核市議会報コンクールで最優秀賞に輝いた宇都宮市議会にて、議会報の編集について学ぶことができました。特徴的なことは、記事作成などの編集は事務局職員3名が行い、広報広聴委員会は最終確認するだけのようです。紙面はフルカラーで、色づかい、写真、イラストの多用、見開くと最上段にそのページの見出しがあり、すぐにでも参考にしたいと思えました。また、議会への市民意見を募り回答を掲載していることも参考になりました。翌18日には所沢市議会で

議会報告会について伺い、年4回、定例会が終わった後に、各委員会から審議の内容についての報告を主体に行っていました。年々参加者が固定化しているとのこと、平成24年からはテーマを決めて政策討論会を行っており、傍聴者は60人から100人くらいになるそう、参考にしたいと思えました。

(委員長 茂木 隆 記)



▲所沢市で議会報告会を学ぶ

**議会運営委員会**

**◆議会運営・議員定数について学ぶ**

8月4日〜6日の日程で、議会運営（聞かれた議会）への取り組み、議員定数問題をテーマに、三重県桑名市と和歌山県田辺市を視察

研修しました。

特筆すべきこととして、

桑名市では、①質問形態を代表質疑・議案質疑（個人質疑）・一般質問の3つに区分していること、②常任委員会の模様をインターネット生中継及び録画放映していること、③市の総合計画検討協議会を設置していること、常任委員会ごとに10月頃までに調査報告書を提出し、次年度事業に反映させていること等がありました。田辺市では、決算審査委員会を各常任委員会ごとに傍聴可能にしているとのことでした。

議員定数では、桑名市は合併時の定数34人を2回にわたり削減し、現在は26人としており、桑名市の人口や面積を勘案すれば、現段階では適正な議員定数と考えられました。田辺市は合併時の定数30人を2回にわたり削減し、現在は22人としており、人口減少と他の同規模人口の市を参考に決定したものでしたが、大仙市よりも広大な面積を持つ市として、市民の声を市政に反映させることが可能か

が今後の課題と思われました。

2市を視察研修して、大仙市議会として実施に向け協議すべきことは、桑名市で実施している常任委員会のインターネット中継と録画放映・総合計画検討協議会（政策検討委員会）の設置・常任委員会の調査報告書の提出・一般質問の在り方等であると思われました。また議員定数については、「自治基本条例」制定後の自治会及び市民の行政への関与度等を参考に、議員定数の根拠をきつちりと協議し、大仙市の議員定数を定めるべきと考えます。

(委員長 武田 隆 記)



▲田辺市での研修風景

## 政治倫理審査会の審査結果を報告します

大仙市議会議員政治倫理条例第7条第2項の規定に基づき、議員に関係する私企業との請負契約について、平成27年6月16日付けで4人の議員から政治倫理条例に違反しているとし、審査請求書が橋村議長に提出され、議長より平成27年7月13日付で議会議員政治倫理審査会に付託されました。審査請求は小松栄治議員の2親等以内の血族企業である「(有)小松塗装工芸社」が請け負った「西仙北中学校駐輪場塗装修繕496,800円」「西仙北小学校プール床補修修繕248,400円」の2件で、契約に至るまでの経緯及び請負人との契約実績について市当局より説明いただいた内容では、学校側から早急な修繕の要望があったため、政治倫理に関する条例を確認することなく地元企業である「(有)小松塗装工芸社」に発注したとのことでした。

審査対象議員である小松栄治議員に弁明の機会を与え確認をしたところ、小松栄治議員は、「本人の全く知らないところでの契約であり、大変驚いているところであるが、このような事実については大変申し訳なく思っており、今後はこのようなことの無いように努める」と話されました。

議員政治倫理委員会では全4回の慎重な審査を行い、議長に審査報告書を提出しました。「審査結果の内容」は小松栄治議員に対して、「関係私企業の自主的な申告をするとともに、政治倫理条例制定後の審査会の開催実績があり、先例があったにもかかわらず、関係私企業との連絡を密にしながら、市との請負契約について辞退する努力が見られなかった等の理由から政治倫理条例第5条第1項に抵触している」との意見が全委員より出されました。

よって、必要と認める措置については、先例があったことに鑑み、厳重注意に相当するものだが、同条例施行規定第12条の規定により、「注意」勧告としました。

今回の結果を踏まえ、「議長から市当局に対し、政治倫理条例及び同施行規定の順守を職員に徹底していただくよう、申し入れしていただきたい」「議長から全議員へ、政治倫理条例の再認識していただくよう、伝達していただきたい」の2点を要望しました。

(大仙市議会議員政治倫理審査会 委員長 古谷 武美 記)

## FMラジオで議会の活動を紹介



8月8日、コミュニティFM「FMはなび」(周波数87.3MHz)が開局しました。

大仙市議会では、わかりやすく市民に開かれた議会運営と、市議会への関心を高めてもらうため、市議会の情報を紹介する番組を放送しています。

議会の仕組みや活動などをわかりやすく伝えていきますので、ぜひお聴きください。

- 番組名 … 市議会だより
- 放送日時 … 月曜日 18:45～
- 金曜日 10:15～
- 土曜日・日曜日 12:45～ (再放送)



▲収録を行う富岡副議長(中央)と秩父議員(左)(右)はパーソナリティーの根田朋子さん



6月17日に東京都日比谷公会堂で開催された「第91回全国市議会議長会定期総会」において、高橋敏英議員が在職20年以上、佐藤芳雄議員が在職15年以上の功勞により表彰を受けられ、第3回定例会4日目の本会議開会前に、橋村誠議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。

高橋敏英議員、  
佐藤芳雄議員に  
永年勤続者表彰

28日	17日	15日	9日	8日	7日	1日	〔9月〕	27日	26日	25日	20日	19日	17日	10日	7日	4日	〔8月〕	29日	28日	27日	22日	21日	14日	13日	8日	7日	2日	1日		
会派代表者会議・広報広聴常任委員会・議会運営委員会	第3回定例会(第4日)・議員説明会・議員全員協議会	第3回定例会(第4日)・議員説明会・議員全員協議会	建設水道常任委員会協議会	建設水道常任委員会協議会	第3回定例会(第3日)・決算特別委員会・同委員会分科会正副会長会議・議会改革推進会議	第3回定例会(第2日)・会派代表者会議・議会運営委員会	建設水道常任委員会「所管事務調査」	第3回定例会(第1日)・教育福祉常任委員会協議会	第3回定例会(第1日)・教育福祉常任委員会協議会	教育福祉常任委員会「所管事務調査」	議会運営委員会	議会運営委員会・総務民生常任委員会「所管事務調査」	宮城県石巻市議会行政視察来庁(学力向上について)	広報広聴常任委員会「行政視察」(～18日)	第3回政治倫理審査会・議会改革推進会議	企画産業常任委員会「所管事務調査」	議会運営委員会「行政視察」(～6日)	愛知県西尾市議会行政視察来庁(空き家バンク制度について)	企画産業常任委員会「行政視察」(～30日)	第2回政治倫理審査会・会派代表者会議	第3回臨時会・議員説明会・議員全員協議会	建設水道常任委員会「行政視察」(～24日)	議会議事委員会・広報広聴常任委員会	大崎市・仙北市・美郷町議会議員交流会	総務民生常任委員会「所管事務調査」	第1回政治倫理審査会	総務民生常任委員会「行政視察」(～10日)	教育福祉常任委員会「行政視察」(～9日)	奈良県天理市議会行政視察来庁(地域振興事業についてほか)	広報広聴常任委員会

決算特別委員会審査日程

- 11月9日(月) 全体会 (審査方法・日程等の確認・分科会審査)
- 10日(火) 分科会審査
- 11日(水) 分科会審査
- 12日(木) 分科会審査・事務調整
- 16日(月) 全体会(分科会会長報告・全体審査)

12月定例会日程のお知らせ

- 11月27日(金) 本会議第1日(市政報告・議案上程等)
- 12月7日(月) 本会議第2日(一般質問)
- 8日(火) 本会議第3日(一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 9日(水)・10日(木) 常任委員会審査
- 16日(水) 本会議第4日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費(7月1日～9月30日)

項目	件数	金額
予算額		900,000円
既支出額	27件	180,568円
今回支出額	27件	295,480円
内訳	弔慰	4件 100,000円
	慶祝	14件 104,360円
	協賛	9件 91,120円
予算残額		423,952円



▲本会議第1日冒頭、会議に先立ち、故細谷洋造議員のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

用語の解説

政治倫理(政治倫理審査会)について

政治倫理とは、政治に携わる者として、汚職や詐欺などを許さないとする道徳心。市民の代表者として公平・公正に行動するために議員が持たなければならない行動規範です。

大崎市では、議員の政治倫理の確立を図り、市民に信頼される民主的な市政の発展に寄与することを目的とし、「大崎市議会議員政治倫理条例」が、平成23年10月1日より施行されています。

政治倫理審査会は、この政治倫理条例に照らして、議員が政治倫理基準等に違反する行為をした疑いがある場合、議員定数の8分の1以上の申し立てにより、当該議員の政治的・道義的責任の有無を審査するために設置されます。

「市政懇談会」でいただいたご意見・ご要望の回答について

6月22日から26日までに開催した、大仙市議会「市政懇談会」の回答について、議会の常任委員会等で検討いたしましたので、お知らせいたします。いただいたご要望等については、広報広聴常任委員会で協議し、市長へも通知します。

No.	いただいたご意見	大仙市議会の回答
1	ひ孫(0歳)を見ているが、3月から保育園を探して、第6希望まで出していたが、まだ見つからない。嫁が働きたいのに、これから待ち続けなければならないか。	保育所の定員は、大曲地区は待機の状態がある。組合病院の跡地に認定子ども園を建築中で、90人位の定員増が見込まれている、なかなか入所できないということだが、先生の数、面積等で入所できないことは把握している。委員会で話してはいるが、法人の経営になっているので、伝わらない。継続して当局へ話していく。
2	児童館の廃止ということを知った。数年前から避難場所に指定していただきたいと陳情したが、それは成り立たないと。水害の場合、コミュニティセンターまで到達する状況はどう把握しているのか。また、児童館を存続させることはどうしてもできないのか。	市では集落への無償譲渡を提案したが、集落での維持管理が困難なことなどから譲渡には至らず、本年第1回定例会においては、揚北児童館の用途廃止の手続を行った。近くの避難場所は約2.6km離れた南小学区コミュニティセンターとなるが、洪水時には楢岡川の氾濫により揚土橋も通行止めとなることから早めの避難が必要になる。地域の自治会(住民)に必要な施設かどうかを十分検討いただき、市で相談にのるよう要望する。
3	雄物川の築堤工事で、道路事情が非常に悪くなっている。要望しているが予算が無いという回答を何年もいただいている。国交省を呼んで要望したら、今回やってもらうことになった。行政で舗装しても半年しか持たない。こういう無駄な経費を使って工事をやるなら、下層路盤から作り直す対策はできないか。なぜ国交省に陳情することできないのか。体制を整えてもらいたい。	市では今年度、特に舗装が傷んだ箇所について国交省と協議を行い、国で対応できる範囲に加え、軟弱な層への安定処理を行うため、市でも工事費を負担し補修工事を行っている。また、交通指導員の配備・最後行の看板設置など、大型車の通行に対し交通安全に努めるよう、繰り返し国や施工業者をお願いしている。
4	待機児童の話で、幼保が民営化になっているが、市に要望を出しても、民間だから伝わらないのか。民営化は合理化と赤字解消のためだけにやったのではないのか。	民営化により行政から切り離されたわけではなく、利用申し込みの受付や審査、保育料の決定など市は現在も運営法人と密接な関わりを持っており、単に合理化や赤字解消のためではない。年度途中での利用申し込みとそれに対応する保育士の確保の困難さから、待機児童を生んでいるのが現状である。保育士不足は全国的な問題となっているが、市当局とともに保育士の確保に向けて方策を考えていきたい。
5	旧8市町村に議員をきっちり割るのは不可能だと思うが、3人ずつにして、旧大曲に2増やすというようなことはできないものか。	小選挙区は無理ではないか。立候補の自由、権利と言うものがあるので。ただ人口の問題も出てくるので、検討課題ではないかと感じている。
6	待機児童の問題を、議員で調査して、返答を早急に出していただきたい。	回答済みであります。
7	大曲厚生医療センターの駐車場は無料にしてほしい。	無料となっている。
8	基盤整備はできたが、農家は米の値段が下がり大変だ。美郷町は葉草の栽培、仙北では和牛とか、雇用人数が潤う、またはアルバイトでもいいから、働ける場所、南外に適したものがあるかどうか、考えて、やってもらいたい。	中山間地域を活かした作物、あるいは新たな取り組みなどに対する様々な制度が用意されている。担当課と相談し、取り組んでいただきたいと思う。議会としても制度の周知や、あらたな助成制度、雇用の拡大について、市当局と一体となって取り組んでいく。
9	アンケートにあるが、議員の定数、報酬について書いている。報酬の金額が妥当かどうか、議員同士で決めていただきたい。	議会運営委員会で、市民の意見、類似団体の調査等により、議員の定数、報酬について、検討中である。
10	移動販売車がまわっている、高齢者が買いに行こうとすると、もう行っていないということがあるので、対策を。	支所と協議しながら対応することになるが、運行計画通りの巡回をお願いしていく。運行表についても周知を徹底するよう要請していく。
11	議員の報酬は良いと思うが、スピード感がない。人口問題にしても、南外に来たら子供を見ますよ、といったことをすれば来てくれるのでは。議員から良い仕事をしていただければと思うし、声を大きくして頑張っていただきたい。	定数、報酬については、議会運営委員会で協議している。市民の意見を尊重していきたい。
12	幸町地下道からファミリーマートまでの歩道が道路完成時から修繕が無いため、凸凹となっている。ここは通学路となっているため、危険である。修繕してほしい。	市では道路整備指針に基づき、舗装の老朽度や緊急性を考慮して、歩道の修繕を検討するとしている。
13	市政懇談会の内容を聞いていると、自分の地域の事ばかり話しているが、大仙市全体の話をしていくのが良いのではないのか。	ご意見を参考といたします。
14	各地域の色々な会合や話し合いの場があるが、このような場所では本音が出ますので、是非、市議会議員の皆様の参加をお願いしたい。	ご要望として、お伺いいたしました。
15	各地域での集まりや地区の活動に地域の市役所職員の参加が少ないので、是非参加して、話を聞いてほしい。	市議会議員の参加は、要請があれば、是非参加したいし、市役所職員については、真っ先に出ていく気概が必要と思う。議員と市が一緒になって、課題に取り組んでいく。
16	年金機構の個人情報漏えいのニュースがあるが、市の方では問題ないか。	市でも神経を使っている、市の情報についてはしっかり管理している。団体の名簿については、作った人の認識について、関係部所から指導していただく。
17	大仙市のふるさと納税のお返しは何か。	大仙市カレンダーと特産品開発コンクール入賞作品を送っている。
18	除雪作業で隣の仙北地域と大曲地域の境で、業者が違う。一路線だとすれば、一業者で除雪したらどうか。無駄な経費になっていないか。	除雪車にGPSナビゲーターを付けて、無駄の無いよう運行している。

南外地域(21人)

はびねす大仙(11人)

No.	いただいたご意見	大仙市議会の回答
19	老人クラブの補助金と子ども会の補助金を比較した場合、子ども会の補助金が少ないので、少子化を考えた場合、子ども会の補助金を増やしてほしい。	合併後の見直しにより、これまでの団体育成から事業費補助へ転換している。県子ども育成会の補助金の申請や事業を展開することによって市の補助制度をより多く活用できることの周知を図り、窓口である各公民館へも相談及び問い合わせを随時行える体制作りを申し入れる。
20	「がんばる集落」活性化支援事業が27年度で無くなると聞いたが、是非継続してほしい。	平成28年度に向けて新たな過疎計画の策定が予定されているため、27年度で事業の見直しを行うものであり、更なる充実した事業内容を求めている。
21	昭代橋には歩道が無く、橋の前後もカーブで見通しが悪く危険なため、修繕してほしい。	昭代橋については県から移管され、現在は市で管理している。当面の安全対策として、市では公安委員会と協議のうえ、路側帯の拡幅表示、注意喚起標識等の設置を検討している。歩道の整備については、橋りょう長寿命化計画に合わせて検討する。
22	市議会で提案した事業はあるか。	一般質問等で要望等を出して実現となっている事業は多くある。
23	生活保護を受けている人に、就労等の指導はしているのか。	就職の斡旋や指導は行っている、生活保護を受ける前の生活困窮者への指導も行っている。
24	アメシロの防除は、自分で行うのが原則と思うが、市では防除しているようだが、どうしてか。	住民の手の届かないような高所の場合は市が行っている。
25	農地の基盤整備が行われているが、後継者がいないのに、疑問に思うが。	担い手確保、法人化の推進、農地集積化のためにも必要な事業と考えている。
26	水道の出方が不安定なので上水道の施工をお願いしたいが、集落の意見がまとまらない。どのようにしたら良いのかアドバイスをいただきたい。 ※現在61軒（中山）	話し合いで同意率を高めることが必要。とにかく良く話し合うこと。
27	施設計画について、削減方向だと聞かすが、地域で活用をきるようにできないか。	縮減対象となる施設は無償譲渡あるいは無償貸与の制度もあり、地域においては運営方法により施設の利活用は可能となる。公共施設の見直しにあたっては、基本的な考え方を示して進めるよう市に要望する。
28	議員報酬について、議会等の日数による日割り換算で行けば、高額と思うがいかがか。	議会以外の活動も多く、年間の3分の2は活動している。そこを考慮すれば高額ではない。
29	大曲の花火について、枚数が増えると聞かすが、市以外を対象にした花火大会となっているように思うが、地元市民が見やすくなるような工夫はできないか。 また、大曲のイベントの内容を工夫できないか。	市当局へ文書で伝えます。
30	市道追分板杭線の改良について、平成26年調査、平成27年工事と聞いているが、どうなっているのか。 なお、関係者より用地の承諾は得ている。	市では優先して整備すべき路線と位置づけており、平成26年度で測量業務・設計業務が完了しており、平成27～31年度で全線完成を目指している。
31	旧池田氏庭園内の通路が砂利道なため車椅子の通行に支障をきたしているのを、改善を望む。 また、高齢者への入場料金を安くできないか。	市当局へ文書で伝えます。
32	要望書・請願書で、議員で止めるのか、市で止めるのか、県で止めるのか、国で止めるのかというランクがあるらしいが、覚えてる範囲内でお知らせ願いたい。	陳情・請願は、議長の判断でおこなわれるが、議会事務局ではどういった陳情・請願も受け付ける。どこかで止まるということは一切ない。請願は紹介議員の名前が必要。議会運営委員会にかけられ、ほとんどが審査される。
33	地域枠予算は、どの地域でもあるのか。どの程度まで認められるものか。流れを教えてください。	大曲地区に1千万円、その他の地区に5百万円だが、人口割で少し増やしている。使い道は町づくり協議会で決定する。
34	有料の新聞雑誌、ペットボトル、ビン、缶がどのくらいの量があって、どのくらい収入見込んで、どのように委託されて、再生利用されているのか、お知らせいただきたい。 	平成26年度は古紙類が1,645ト、ビン・缶類が999ト、ペットボトルが164ト収集されている。古紙類は市内の再生事業者へ引き渡され、約849万円が市の収入となり、計画収集委託料の財源に充てられている。 ビン・缶・ペットボトルは大仙美郷クリーンセンター内のリサイクル施設で選別、圧縮、梱包された上で事業者へ渡され、約1,142万円の収入が大仙美郷環境事業組合の収入となり、ごみ処理施設の管理運営費に充てられている。
35	市民の声を聞くとしても、老人ばかりで、若い人の意見を聞いてほしいので、平日でなく土日とかに、こういうのを開催したらどうかと思う。	大曲地区で夜の開催をした。土日は若い人は遊びに行っている。意識の問題もある。呼んでもらって出向くことや人が集まっている所に出向いて話を聞くようなことも必要。悩みながらも考えている。
36	18歳からの選挙権になるが、学校の中で政治に関して学ぶ、教育の仕方を考えていかなければならない。若い人たちに関心を持たせる施策を考えていただきたい。	若い人の投票が少なくない。行政、地域が一体となって取り組む。議会でも考えていく。中学生議会を生かしていきたい。企業で働く若い人たちとの市政懇談会も考えていきたい。
37	昨年市政懇談会の意見がどこから出たのか分からないので、明示願えれば分かりやすいです。	次回より、会場名を記載します。
38	大仙市の新庁舎構想は消えたのか。長期構想に入っているのか。	総合計画には入っていない。新庁舎の建設はまず無い。
39	神岡図書館や支所で、東京4紙の新聞は見ることができないので、見れるようにしていただきたい。	市当局へ文書で伝えます。

No.		いただいたご意見	大仙市議会の回答
40	神岡地域 (17人)	職員の定数で800人まで減らすこととなっている。支所の農林建設課では、兼務が多くて大変である。	市では大仙市総合計画並びに行政改革大綱に従い、効率的な行政運用を図るために「第二次定員適正化計画」を策定し、職員数の適正化を進めている。部署における事業状況等に応じて人員配置を行っているが、削減することにより市民サービスが低下しないよう市に要望する。
41		魁に市長の動向が載る。他の市町村の首長のは載っているが大仙市は載っていない場合が多い。どういふのを載せるか、はっきりしていただきたい。	市長の行動は市の広報「だいせん日和」に掲載するとともに市のホームページに日程表を掲載しており、報道機関にも日程表を提供している。報道機関によって掲載の有無を判断している。
42		新聞に佐藤文子議員への市長の答弁で不適切発言と載っていたが、詳しく教えてほしい。	給食費の無料化について、市長が、もう二度と質問しないでくださいとの発言があり、発言の取り消しを行った。
43		バイパスの用地が草が生えて、田の害虫の巣にもなるので、国へ要請してほしい。	市当局へ文書で伝えます。
44		大曲駅前が開発が進んでいるが、旧町村の元の繁華街はシャッター通りとなっている。これらのテコ入れをお願いしたい。	特効薬みたいなものは無いので、一つずつ解決していくほかはないのではないかと考えている。
45		大曲は企業が結構あるが、神岡の場合は京浜工業、そういうのがないと人口が減ってくる、議員からも目配りをして、地域振興策を考えてもらいたい。	今回企画部にまちづくり課というのを新しく作った。ここで各地域の振興策をまとめていくということになっている。議会でも協力していく。皆さんの意見をお願いします。
46		スポーツ振興に関して、毎年500歳野球をやっている。開会式の時の駐車場やトイレの対応はあるのか。全日本の大会をやるといふことだが、神岡から主会場を動かさないでほしい。	球場周辺の環境整備について、委員会で話している。トイレの件はなんとかしたい。全国大会は神岡でと思っている。
47		堤防の件で、最近決まったようなことを聞いた、進捗を教えてください。	工事は、いい方向で話が進んでいる。
48		卓球をしているが、どこのトイレも洋式になっている。神岡の体育館だけは和式である。高齢者もスポーツをしているので、順序に変えると言っているが、直してほしい。	市当局へ文書で伝えます。
49		母の日、父の日がある、敬老の日もあるが、祖父の日、祖母の日があった方がよいのではないかと、商店のためにも、大仙市がまず手をあげてやってみてはどうか。また、若い人のために予算を使ってほしい。	ご意見として、伺いました。
50		議員報酬の資料があるが、年報酬はどれくらいか。資料に書いてもらいたい。	議員の報酬は、年間690万くらいである。
51		旧13号線が、県道になったとたんに、除雪用のポールが、まだ設置されている。除雪や草刈りなどの管理が行き届かない不安がある。	除雪用ポールは、あちこちで、そのままになっている。除草も遅れている。予算の関係か。除雪については、生活に結びつくので、雪対策室もできたので、やっていく。
52	公園の除草などをしているようだが、枯れ枝などちらばっている、行政でも来て、見ていただきたい。	市当局へ文書で伝えます。	
53	県道土川長野線の桜並木は、きれいだか木が成長して根が盛り上がり、歩道の起伏が激しく、夜などは危なくて、自転車でも通れない。対策をしてほしい。	県と市の協議により、歩道ブロックが盛り上がり危険な箇所は、県が年次計画で幹周辺のブロックを外して整地する。また、歩道の段差の注意を促す看板も設置する。	
54	ドンパン祭りの予算の内容について教えていただきたい。	市の資料から、ドンパン祭りへは220万という額が載っている。地域イベント補助金として、交付される。	
55	ドンパルの横から国道105号に出る道路が、冬期間危険である。道路沿いの塀に雪が積もって見通しが悪い。事故も起きている。対策をしてほしい。	国道105号の歩道部分の除雪・排雪を丁寧に行い、車道部分の見通しを確保していただくよう、当局を通じて県へ要望する。	
56	福島と大宮田間の道路の舗装はいつ頃になるのか。	市当局へ文書で伝えます。	
57	U字溝の蓋を再三お願いしている。支所に聞いたら申し送りは無いと言われた。なんとかならないか。	市当局へ文書で伝えます。	
58	農道に付帯する側溝のことで、管理する人がいなくなって、距離は70mくらいだが、夏になると蚊やハエが発生しているし、埋まってきている。整備していただけないか。	下水道未加入のお宅があるので、まずは下水道に加入していただくことで、周辺水路の環境改善が図られると思われる。側溝の整備については用地の問題もあるので、周辺住民にご協力をお願いしたい。	
59	グリーンベルトやっていたらよかったが、カントリーの先の道路はグリーンベルトはやらないのか。	学校の要望により、所管課である環境交通安全課と教育委員会が学校から半径300m以内、通学する児童数など要件に照らし合わせ、協議の上、設置している。要件にあわなくても、要望があれば調査・検討の上、設置している場合もある。今回の件については、学校からの要望もなく、通学児童数も少ない状況であり、設置の計画はない。	
60	17号線の小滝を渡ったT字路の街灯は付いているが、ポールみたいなものが無く、自転車でも側溝に入るところだった。危なかったと言われたので対処してほしい。	安全確保のため、T字路の起点部分に視線誘導標（デリネーター）を設置する。	
61	町内の高齢化率が65%を超えている状態で、毎年春と秋、800mの水路の掃除をしている。最近、いつまでやるのか不平が出てきている。ごみがたまらない流れる水路にと思っている。検討をお願いしたい。	この路線の整備には多額の工事費を要するため、市の次期総合計画の要望路線にしている。一部下流の路肩の崩れは、今年度施行予定である。県で施行した可変勾配側溝の上流、市道部分については総合計画に載せて、順次施行実施に向けて要求していく。	
62	カントリーのそばの清水から来る県道の十字路、止まれの標識が外されている状態。道路の線とかお願いしたが、直る気配が無い。危ないし、事故も起きている、どうして外されたのか。	話は、昨年聞いて市へお願いに行った、止まれの公安委員会の方で、かたてにやられないとのことで、市からお願いするように要望したが、再確認する。止まれの標識も現地を見る。	





No.	いただいたご意見	大仙市議会の回答
63	水路等に水が無い。火災が起きたらどうするか。消防も心配している。冬が特に心配である。	仙北平野土地改良区へ行って、冬は生活用水として無料で流すことを確認した。地域の皆さんで上手に分けて使ってほしい。
64	冬の除雪で、障害者の家に除雪車が入って行って、よせてくれているが、亡くなっている場合がある。確認しないで除雪している。行政で調査する必要があると思う。	市当局へ文書で伝えます。
中仙地域 (11人)	65 八乙女球場のベンチのサビについて、どの程度の予算が付いたのか。	本年度予算として129万円確保しているが、球場全体の補修は賄いきれない。市教育委員会としては、3年程度の計画で順次対応していきたいとのことなので、議会としても了承し、出来るだけ早く完工出来るよう要望した。
	66 ジャンボウサギのフェスティバルについて、出陳頭数が年々少なくなってきた。議会の常任委員会で話題として取り上げていただきたい。	出陳に対する支援や新たな飼育農家の掘り起し、飼育農家に対する支援ができないか検討することを要望していく。
	67 地域協議会から出た要望と議員と一緒に行動してほしい。内容を市民に教えてほしい。地域協議会の委員も知らせてほしい。	市当局へ文書で伝えます。
	68 会派の所属とモットーがあったら、説明願います。	所属等を説明。資料のカッコ書きは一人会派を示している。
	69 高齢者安心相談室、包括的支援事業は重要な役割を持っている。これが地域にどう活用されていくのか、中身を知っていただいて、議員に思いを、政策提言という形でもって取り組むようにしていただきたい。	所管事務調査で、きっちりやられているか、どういったところに問題があるか、現場のチェック、事業の中身のチェックをしっかりやることを、申し合わせる。
70 福祉の事について、実際の活用は非常になされていない面がある。我々では限界がある、議員から協力をいただいてやっていった方が、地域のためになると思うが。	高齢者福祉の政策メニューは、40くらいある、総合的に相談する流れになってきている、政策メニューが市民に届くように頑張っていく。	
71 老人安心相談室があるが、しっかりした行政の対応になっていない。部屋の中で事務仕事で、民生委員から相談が行って、初めて動くと。民生委員が動かないと包括支援センターもなかなか動けない。議員から何が問題か見ていただいて、包括的な支援ができるようにしていただきたい。	各地域の民生委員定例会の出席や毎月社会福祉協議会、支所市民サービス課と地域ケア会議を開催し、情報の共有化を図っている。職場内での事務仕事との指摘があるが、実際は訪問調査や介護予防教室等で不在になる機会が多い職場である。また、緊急性があると判断すれば別であるが、相談があったからすぐ動く訳ではなく、事実確認や状況調査してからの場合もあり、ケースバイケースである。誤解を生じないように日々の業務に当たるよう申し入れた。	
72 ハザードマップで、西仙北の時のものと大仙市のもものでは、かなり違っている。西仙北町でのハザードマップが的確である。防災監に伝えたが、答えは無い、こういう場で意見を言っても、アンケートを取っても、次の市議会だよりとかに結果が載ってこない。こういうことがあったからこうだという、考え方を示していただきたい。	国土交通省では平成27年度中に、最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の策定を行っている。市としてはその完成を待ち新しいハザードマップの作成に取りかかることとしており、市民の意見を聴取しながら、わかりやすく実用的なハザードマップの作成に努めるよう市に要望する。	
73 西仙北中央公民館の改築について、協議会での要望をお伝えしたい。①駐車場を広く、②平屋建てにして、③隣接地を買い取って建設。後日市長と議長へ要望書を提出する。地元議員から特段の支援をいただきたい。	改築には賛成であるが、公共施設は500ほどある、このような中、財政が保てるかが問題。人口減の状況の中で、10億かかるといわれているが、孫子へ負担をかけて、保っていいのか。無責任なことはできないと思っている。疑問視している。	
74 農道のことで、せめてガードレールを設置した道路は、整備して、例えば寺ノ下から寺村に抜ける道路、ヘリポートができた。草が道路に覆っている状況なので、整備する必要があると思う。	ヘリポートは送電線の工事のためのものである。地域で整備するが、道路が長距離なので、西仙北支所に依頼して、機械で道路わきの草等を刈り取ることにしている。もう少し待っていただきたい。	
75 仙北市、横手市、大仙市が必ず入る観光コースを作る施策はできないものか。	市当局へ文書で伝えます。	
76 500歳野球での効果は大きいものがある、是非実現するよう施策を考えてほしい、柳葉敏郎さんに協力をいただいてという方法もある。	市当局へ文書で伝えます。	
77 少子高齢化の対策として、今いる小学生、中学生に郷土愛教育を検討してほしい。	市では、持続可能な社会作りに貢献する人材育成を教育方針に据えている。教科等の学習はもとより、ふるさと教育、食育、防災教育等の教科横断的な教育活動を重視し、地域や関係機関との交流と連携をキーワードに、各学校で特色ある教育活動を展開している。議会としても地域に貢献できる人材育成を提言していきたい。	
78 米の生産地に何故米菓ができないのか、全国に知られるお土産を開発してほしい。	市では、特産品コンクールを行っており、これまでの入賞作品もいくつか商品化されている。また、ふるさと納税者に対してもお礼の品として届けているので、皆様方からも周知をお願いしたい。	
79 生活習慣病で、大仙市の子ども肥満はどうなっているか。	市当局へ文書で伝えます。	
80 税の未収について、不納欠損額は、毎年増えているのか、減っているのか。特に国保は、資格証明は何人位。収納の体制を充実してもらいたい。	欠損処理については、1件ごとに説明をいただいている。収入や徴収についても、議会のチェック機能であるので、心してやっていきたい。	
81 柏台に工業、産業、施設などを誘致していただきたい。太陽光発電の話があるようだが、地域の活性化とならうと思うので是非願います。雇用はどれくらいか。	8ha太陽光発電をやる。12月に工事が終わる、年間1,200万円の収入が20年間ある。就労は草刈、除雪程度である。管理委託等を地元へ期待する。	

No.	いただいたご意見	大仙市議会の回答
82	西仙北地域 (47人) 町内会で救急車が来たが、3時間ぐらい消防隊員が連絡していた。結局連れて行かないで、親戚の人が3時頃病院へ連れて行った。こういうのは何とかならないものか。	市当局へ文書で伝えます。
83	結婚を支援する会に携わっていて、結婚に至ったのは4年で5組ほどしかない。議員も先進地視察しているようだが、情報を知らせてほしいことと、大仙市の皆さんから婚活に興味を持ってもらいたい。議員にも相談会にてほしい。	ボランティアでやっていただいていたが、市でも活動に補助金を出すこととしている。結婚成立の謝礼も出る、議員も機会があれば参加していきたい。
84	一次避難所にAEDの設置をお願いしたい。	市当局へ文書で伝えます。
85	空き家条例について、補助金の助成等の制度はできないものか。	50万円を上限として、給付型の補助金制度があります。
86	市の防災対策について、今後はどのようなものを計画しているのか。	現在、自動でスイッチが入る防災ラジオの準備を進めている。
87	現在、大仙市の自治基本条例の作成に携わっているが、この条例について議員はどう考えているか。	議会にはまだ上がってきていない。これから上がってくるものと思われる。
88	無所属議員が24名いるが、会派の位置づけとはどのようなものか。	考え方が似ている等の政策集団。
89	今後の地域活性化の取り組みについて、どのように考えているか。	南外の例を言うと、地域活性化協議会を立ち上げた。長年休止していた盆踊りを復活させた。地域の運動会も人数の少ない集落を合体させて実施している等。
90	現在、大仙市の市役所を新築すべきでは。	耐震化の工事も完了している。その考えは無い。
91	安保法制についての議員一人ひとりの態度は。	議会だよりに掲載しているのでご参考に。
92	まちづくり課の小規模・高齢化集落等コミュニティ対策事業費について、補助金等をもっと手厚くしていただきたい。	ご要望として受け止めていくが、自治会離れ、地域コミュニティの維持困難が懸念されることから、議会としても注視していく。
93	市で年に1～2回ぐらい「地域活性化の日」を定め、その日は子供たちをスポ少等に行かせない日とし、地域行事に参加する日とする等、議会で提案していただきたい。	市全体では困難と思われる。地域の学校を交えて、地域で協議してはいかかか。
94	農業用水の利用で小水力発電の推進を要望。	県が既に推進に取り組んでおり、実現に向かって進んでいる。今後も引き続き推進していく。
95	集団的自衛権について、市議会でも意見を検討しているか。	国の動向を見定め、今後協議をしていく。
96	高等学校の再編計画について、大農太田分校の存続を検討していただけないか。	市当局へ文書で伝えます。
97	平成26年の市政懇談会で医師不足があげられたが、現在の状況はどうか。	医師不足は続いており、今後、医師の確保に努力していく。(市当局へ文書で伝えます。)
98	大曲厚生医療センター周辺の駐車場が少ないので、増やしてほしい。	市当局へ文書で伝えます。
99	池田氏庭園の今後の整備計画について知りたい。	平成16年に国指定名勝となった際に保存管理計画を作成し、整備を進めている。30年の計画であり、総事業費は約10億円を見込んでおり、10年間で計画の53%、今年度中に62%の進捗率となる予定である。今後は、保管的な修復作業に入っていくこととなり、また、私田分家についてもトイレの新設、正門の移設工事等整備していくことから、保存管理や整備の状況を注視していきたい。
100	池田氏庭園を市内外の観光資源と共に観光コースとして、四季を通して公開したほうが良いのではないか。	大仙市の観光については、大仙市議会でも観光推進議員連盟を組織し検討している。今後も引き続き観光推進について検討を行い、当局に対し提案していきたい。
101	公文書館の建設とあるが、平成27年度の事業概要を知りたい。	廃校した双葉小学校を利用して整備していく方向で、平成28年度工事、平成29年度より収納の予定である。
102	市政懇談会で若い世代の参加者を増やす配慮が必要ではないか。	若い世代の参加しやすい日時や場所を検討する。また、FMはなびや議会ネット中継なども活用して、市政懇談会の周知を図る。
103	選挙権が18歳からなる事について市の対応はどうか。	市選管では7月に大曲農業高校3年生を対象に選挙啓発に関する出前講座を開催し、講座、模擬投票、開票、アンケート調査を行っている。今後も秋田県選管と連携しながら市内高校生を対象に出前講座を実施して行く。投票率の向上に関しては、市内のショッピングセンターなどに期日前投票所を設置する検討を行っている。
104	コミュニティFMの活用について	市でも積極的に活用し市民に情報を伝えていく。災害時にも活用していく方向なので、全戸にFMラジオが配布なるよう要望していく。
105	26年度の市政懇談会のなかで、人口減少に対するアンケートを実施するとあるが、その結果について知りたい。	当局に要望しているが実施していない。今後も市当局へ要望していく。(市当局へ文書で伝えます。)
106	地域おこし協力隊の募集について	募集中であり地域の活性化を促す事業なので、今後も進めていく。
107	宴会のコンパニオン代を公費から拠出している例があるが大仙市議会ではどうか。	大仙市議会ではない。飲食費は議員個々の負担で行っている。

No.	いただいたご意見	大仙市議会の回答
108	農業ではなかなか生活ができない。 安定的な収入を得るため、企業の誘致をしたらと思うがいかがか。	企業誘致はなかなか難しい状況であるが、今回、アゼアスという会社が旧仙北町に来ることとなり、合併後7社目となる。これからも誘致に向けて努力していく。
109	小中学校の統廃合においては検討段階から市民の参加をお願いしたい。	現在、太田地区は小中学校の統廃合の計画がない。 統廃合の話が出てくれば当然市民のご意見も伺うこととなる。
110	園芸メガ団地から出るトマトのB品・C品を有効に活用するため、加工場の建設をしたらどうか。 また、関連企業の誘致なども考えれば、雇用につながると思うが、どう考えるか。	現在の出荷状況について調査を行い、生食用は関東市場、完熟トマトは秋田市場、規格外は全農へそれぞれ出荷している。すでにJ A で直売所と加工所を兼ねた施設を建設予定である。
111	学校給食において当初は地産地消の考えであったが、現在はどうか。 	学校給食総合センターの説明では、地産地消の方針に変わりはない。学校給食への地産農産物の使用割合は第1次大仙市食育推進計画では平成25年度まで38%。第2次計画では平成30年度までに50%に拡大しており、その達成のために関係機関や団体で組織する「学校給食への地産農産物推進会議」を年2回行っている。しかし、時期によっては手に入らない物、また、価格の問題もあり、難しい面もあるようだが、今後も最大限努力するよう申し入れる。
112	大曲駅周辺の整備は良くできたと思う。 今後、拠点作りが必要となってくると思うが、いかがか。	小さな拠点づくりに関連し、今後検討する機会が増えてくるものと思われる。今後も情報収集に努め、検討していきたい。
113	前回、西山地区の生活排水の詰まりについてなんとかしてもらいたいという話をしたが、直してもらえるのか。	支所で十分に検討している。後で支所の担当者に聞いていただきたい。
114	草だらけで、傾いている空き家がある。家主がなんの相談もなくいなくなり、連絡も取れない。地元ではどう対処したらよいか。	市当局へ文書で伝えます。
115	自宅隣の空き家について支所・本庁に相談に行き、「わかりました」と言われたが、何年も対応してもらえなかった。職員が異動した際の申し送りも悪く、いつも最初に戻ってしまい、解決まで大変難儀をした。空き家条例もあるので、対応についてもっと改善してもらいたい。	個人の所有物というのが、一番物事が進まない要因である。また、個人の財産であるのが、当局職員も対応に苦慮するところである。もう少し我慢していただいて、近い将来解決する方向で進めていきたい。
116	大仙市農業再生会議から、機械購入や施設整備の助成についてのお知らせが送られて来た。地元の人が申請したが、様々な制約により、助成対象にならなかった。この農業再生会議には予算がどのくらいあって、助成対象者は何人いるのか教えてほしい。 また、市長は大豆を振興すると言っているが、その内容について教えてほしい	農業再生会議は農家代表が参画して、市農業の方向性を決めていく組織で、予算も多くないと思う。市の事業として今年度より、コンバイン・田植機購入に対する助成が設けられたが、農地中間管理機構から農地を借り上げないと対象にならないなど制約が多いため、市当局に改善するよう伝えている。 大豆振興については、市単独事業として、大豆の団地化に対する助成制度がある。
117	雄物川の堤防嵩上げにより、大雨が降ったときに、以前よりも上流域の水位が高くなっている。田茂木地区付近の川の堤防は一部低いところがあり、逆流したときに洪水になるのではと心配している。対策等は考えているのか。	市当局へ文書で伝えます。
118	決算について、議会で審議しているのか。その結果は公表しているのか。	毎年11月に決算特別委員会を設置して審議している。結果は市の広報や議会だよりで公表している。
119	所得税の源泉徴収漏れについて、市の持ち出しで、立て替えて収めたと新聞で見た。議会ではどのように対処したのか。	市から税務署に源泉所得税の不足分を収め、対象となった個人事業主から、その不足分を市に返還してもらったので、市の持ち出しはない。
120	交差点や一般家庭の塀などに、議員の氏名と連絡先が記載された看板を見かける。突風が吹いたときに飛ばされるような危険なものもある。選挙管理委員会から、交通の妨げになる所、景観を損なう所には設置しないように等の指導はあるのか。また、看板の枚数は決められているのか。	看板の枚数は決まっており、選挙管理委員会から許可をもらって立てている。立てる場所も塀などの場合は、その住民から承諾を得て、選挙管理委員会に届出している。危険な看板については、議員本人が選挙管理委員会に連絡していただきたい。
121	親類が亡くなり、新しくなった中央斎場に行った。焼却釜が3つあるが、ホールでの最後のお別れの後、棺だけが焼却釜のほうに運ばれていったため、喪主も親類も、どの釜に入ったのかわからなかった。また、ホールで遺影に水をあげることができず、控室で水をあげた。今後はどの斎場も、このような形式になっていくのか。	他の新しい斎場はどこも、子どもへの影響を考えて、棺が焼却釜に入っていくところまでは見せない所が多く、中央斎場もそのようなことで設計されたと聞いている。ご指摘の点は、大曲仙北広域市町村圏組合に伝える。



市民の声

「臨時福祉給付金」プレミアム付き商品券など一見うれしいことが最近あったが、冷静に考えてみると、消費税の負担感を少しでも抑えようとした策だったのではと。

そして今度は「マイナンバー制度」が始まるという自治体職員の方々の事務量は増え、それに伴う経費も相当なものだろうと思う。果たしてこれが実施された時、利便性を感じるだろうか。いや行政側にとって都合がいいだけではないかと勘繰ってしまふ。

いずれにしても大事な税金を充てるのだから、国民のためになるのか慎重に考えてからにしてほしい。  
(大曲地域 最上 澄子)

毎年私は市議会本会議を傍聴し、出来る限り市政を通じて政治に関心を持つと努めております。私たちの代表の方々が、真剣に市政をさらに充実させ、現在山積している諸問題の改善・解決に努力されていることに感謝し、毎回時期を決めて傍聴させていただきます。ただいております。しかし、私は議会の進め方については全く無知な者ですが、質問者、答弁側があまりにも決められたルールの中でやり取りしている感じに見えてなりません。追加質問の場面もありますが、あまりにも穏やかすぎると感じます。

実行できないことはどのようなことで、実行できない理由を細々に述べてほしいし、質問者も質問する以上、もつともつと突っ込んだ論議をしてほしい。あまりにも紳士的で、傍聴する側から見ると物足りなさを感じます。何となくお芝居を見ているような気持ちにさえなります。

聞くところによりますと、4つの委員会があると聞きますが、私たち市民が、委員会での一層突っ込んだ論議をなさる素晴らしい先生方のご努力なされている姿・内容を傍聴させていただきたいものです。

(大曲地域 70代男性)

大仙市の名勝巡り (仙北地域)

国指定名勝「旧池田氏庭園弘田分家庭園」

旧池田氏庭園の秋季一般公開が9月19日より始まっており、弘田柵跡内にある弘田分家庭園は常時公開されており、隠れた紅葉スポットとして親しまれております。



弘田分家庭園は、池田家の旧弘田分家敷地に残る池泉回遊式の日本庭園で、平成20年7月に国の名勝に追加指定されました。本家庭園に勝るとも劣らない紅葉がとても美しく、多くのカメラマンも訪れます。

また、秋季一般公開には演奏会やライトアップも計画されており、夜の紅葉も楽しむことができます。

詳しくは市広報「だいせん日和」9月号、市のホームページをご覧ください。  
(佐藤育男 記)

編集後記

◇大曲の花火は今年も70万人を越える人々に感動を与え、500歳野球大会もまた、開催地として多くの市民や職員に支えられ、往年の野球少年のパワーを引き出しました。大仙市の神岡大浦クラブと大曲クラブの2チームがベスト4に入る健闘を見せ、2年後の全国大会開催に向け、大きな力を添えていただきました。

◇だいせん市議会だよりの編集は、10名の委員と議会事務局職員でレイアウトなどを協議し、写真や記事の役割分担をし、原稿の執筆に当たります。前号から発行日を半月早くしたので結構忙しく感じますが、委員それぞれが責任をもって対処してくれ、編集会議でも、「市民に読んでもらえる議会報づくりはどうあるべきか」真剣に意見を交わしております。しかしまだまだ、改善をしなければならぬと思っておりますので、市民の皆さまからご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。  
(茂木 隆 記)

広報広聴常任委員会

- 委員長 茂木 隆
- 副委員長 秩父博樹
- 委員 佐藤隆盛
- 後藤 健
- 佐藤育男
- 佐藤文子
- 佐藤芳雄
- 古谷武美
- 大山利吉
- 本間輝男